

ロボットと未来に関するアンケート

下記アンケートにご協力をお願いいたします。

当アンケートの回答者の皆様へお願い

マクロミルモニタの皆様にはモニタ規約にて「調査についての守秘義務」の徹底をお願いしています。

当アンケートの内容および当アンケートで知り得た情報については、決して第三者に口外しないよう（掲示板やホームページへの書き込みを含む）、ご協力をお願いします。

ロボットと未来、あなたの思いを文科省へ

現在、オリンピック・パラリンピック2020を契機とした将来像について、文部科学省があなたの思いを募集しています。現在募集されているテーマは「ロボットと未来」です。それに合わせて、私たちPESTI（＝ペスティ）プロジェクトは、文部科学省へあなたの思いを届ける企画（対話型パブコメ）を行っています。

このアンケートにおこたえいただければ、文部科学省 科学技術・学術政策局 研究開発基盤課にあなたの思いをお届けします。

回答に要する時間は**5分程度**です。

回答内容は、個人が特定されないかたちで公表させていただくことがありますので予めご了承ください。

本企画実施のPESTI（＝ペスティ）プロジェクトおよび、対話型パブコメについてはこちらのWebサイトをご覧ください。

→[PESTIWebサイト](#)

→「対話型パブコメのススメ」パンフレット



ここで改ページ

Q1

下記のシナリオを読んでどう感じられたか、それぞれあてはまるものをお選び下さい。

※シナリオはすべてフィクションです。登場する人物・シチュエーション等は、実在のものとは関係ありません。

【必須入力】

1

賛
同
で
き
る

2

賛
同
で
き
な
い

1. <人より多くなるロボット>

2020年、ここ東京ですら、10年前より随分若者がいなくなった気がする。3人に一人がAさん（35歳、女性）の父親と同年代かそれ以上の高齢者。高齢者の数以上に街にはロボット技術が満ち溢れ、もともとそれほどハイテクに強くないAさんにはいささか“お腹がいっぱい”でハイテク食傷気味と感ずることがある。確かに自動化技術で交通事故は減り、工場では労働力不足は解消されつつある。高齢化社会は日本が直面する最大の危機であることは理解できている。でもロボット技術で人々は、高齢者はもちろん、若者も幸せになったのだろうか？日本は元気になったのだろうか？技術の進歩の速度に人々の暮らし・幸せが追い付いていないような気がする。Aさんは感じている。

Aさんが人よりロボットが多くなった社会に対してこのように感じたことについて、あなたはどのように思いますか？

2. <職業を奪うロボット>

Bさん（55歳、男性）には、28歳になる息子がいる。息子は将来、プロサッカー選手になる夢を持っていたが、高校にあがるころには、才能が無いとプロになる夢を諦めた。しかし、サッカーへの夢を諦めきれず、今は‘サッカーの審判’として働いている。仕事を始めて5年、最近ではロボットによる精度の高い審判システムが導入され、選手や観客からは好評であるが、審判という職業の失業者が年々増加している。息子は審判の夢すら絶たれてしまうのか？息子の将来が不安でならない。こんなことならロボット審判など導入されなければ良かったのでは？とBさんは考えた。

Bさんがこのようにロボット審判が導入されなければ良かったと考えることについて、あなたはどのように思いますか？

Q2 科学・技術に関心がありますか？

【必須入力】

- 1. とても関心がある
- 2. 関心がある
- 3. 関心があるともないとも言えない
- 4. 関心がない
- 5. 全く関心がない
- 6. わからない

Q3 科学・技術に関する情報を積極的に調べることはありますか？

【必須入力】

- 1. はい
- 2. いいえ
- 3. わからない

Q4 過去、科学・技術に関する情報を調べた際に、探している情報を見つけることができましたか？

【必須入力】

- 1. 見つめられた。大抵、その内容は容易に理解できる。
- 2. 見つめられた。しかし、ほとんどの場合、その内容を理解することは難しい。
- 3. 見つめられなかった。ほとんどの場合、探している情報は見つめられない。
- 4. わからない

Q5 あなたにとって重要な科学・技術の問題についての政策形成に対して、あなた個人はどの程度の影響力をもっていると思いますか？この中から1つだけお答えください。

【必須入力】

- 1. 大きな影響力をもつ
- 2. ある程度の影響力をもつ
- 3. あまり影響力をもたない
- 4. 全く影響力をもたない
- 5. わからない

Q6 あなたにとって重要な科学・技術の問題についての政策形成に対して、あなた個人はどの程度の影響力をもつべきだと思いますか。この中から1つだけお答えください。

【必須入力】

- 1. 大きな影響力をもつべきだ
- 2. ある程度の影響力をもつべきだ
- 3. あまり影響力をもたなくてよい
- 4. 全く影響力をもたなくてよい
- 5. わからない

Q7 次の1～5の項目のうち、あなたは何が科学技術イノベーションを促進すると思いますか。それぞれについてあてはまるものを1つずつお答えください。

※科学技術イノベーションとは、科学的な発見や発明等による新たな知識を基にした知的・文化的価値の創造と、

それらの知識を発展させて経済的、社会的・公共的価値の創造に結び付ける革新のことだと考えてください。

【必須入力】

| | 1 とても促進する | 2 やや促進する | 3 どちらともいえない | 4 あまり促進しない | 5 全く促進しない | 6 わからない |
|-----------------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1. 規制緩和 → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 2. 科学教育 → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 3. だれにでもわかりやすい科学技術情報伝達 → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 4. 国民から国へ意見を伝えること → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |
| 5. 科学技術イノベーションで大きく成功した企業が増加すること → | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |

Q8 次の文章の中で、新しい技術や製品についてあなたが通常どのように感じるかについて、うまく表現しているものを

1つだけお答えください。

【必須入力】

- 1. 新しい技術や製品を、いつも誰よりも先に試してみる。
- 2. 新しい技術や製品は、まず試した人の様子を見てから使う。
- 3. 新しい技術や製品は、周囲の多くの人が使っている様子を見てから使う。
- 4. 新しい技術や製品は、積極的には使わない。
- 5. わからない

Q9 少子高齢化社会をむかえる日本において、自分や家族の生活の質（QOL）を向上させるため、あなたの生活の中でどんなことを「ロボット」の手を借りても解決したいですか？

※ここでいう「ロボット」はロボティクス、ネットワーク双方を含む広い意味でのロボットを指し、自動掃除機のルンバ、スマートフォン、iPhoneのSiri、Pepper（ペッパー）なども含みます。

【必須入力】

※500文字以内でご記入ください。

Q10 Q9で答えた課題を解決するために本当に「ロボット」が導入されるとしたら、あなたはどのような抵抗感や不安を感じますか？

※ここでいう「ロボット」はロボティクス、ネットワーク双方を含む広い意味でのロボットを指し、自動掃除機のルンバ、スマートフォン、iPhoneのSiri、Pepper（ペッパー）なども含みます。

【必須入力】

※500文字以内でご記入ください。

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。
回答もれがないか確認し、よろしければ「送信」ボタンをクリックしてください。

送 信

© MACROMILL, INC. All Rights Reserved.